

[4. ルーブリック集]

討議のための予備調査に関するルーブリック		青字は、今回の課題に関する基準		＜討議テーマ：遺伝子組み換え作物＞	
インターネットによる予備調査	3	2	1	0	
資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマを意識して、収集する情報の焦点化を行なうだけでなく、専門書、入門書、事典などを利用し、テーマ理解の深化に積極的に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマを意識して、収集する情報の焦点化を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の焦点化が十分ではないが、必要な情報は集めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予備調査がほとんどできていなかった。 	
		特に「生物多様性条約」「WTO」などのキーワードを遺伝子組み換え作物問題との関連において調べている。	左記項目について、片方についてしか遺伝子組み換え作物問題との関連において調べていないものもこちらとした。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報は、いつ、誰が発信したものか、信頼性や内容の偏りなどに留意して、ひとつの内容について複数情報源から資料を集めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の意見ではなく、事実に関する情報に絞って収集しており、資料の収集源を明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事実だけでなく、個人の意見を述べた資料を集めていたり、資料の情報源は明らかではなかったりするが、必要な情報は集めている。 		
			シートに書名・URLの表示がない、または、添付資料が一切ない場合は、「情報源が明らかでない」と見なす。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提示したキーワードと新たに調べたキーワードとの関係を調べ、キーワードの理解の深化に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が収集した情報をもとに、新たなキーワードを自発的に設定し、それについて調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が収集した情報をもとに、新たなキーワードを自発的に設定しているが、やや的是な内容である。 		
	「他、自分で調べた関連キーワード」の欄に項目を挙げ、それについて別紙資料も用意している。	「他、自分で調べた関連キーワード」の欄に項目を挙げ、それについて簡単にまとめている。	「他、自分で調べた関連キーワード」の欄に項目のみを挙げている。		
収集した資料の吟味	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料全体に目を通し、分からない用語を調べながら読んでいる。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料全体に目を通し、重要な論点、キーワードなどにチェックを入れている。 	この項目は、加点要素とする。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を通じて見出した疑問点・課題をさらに調査して、考察しようとしている。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を読みながら、自分なりの疑問点、課題を挙げている。 		
収集した資料の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を項目毎に整理し、複数の資料をもとに自分でまとめ直すなど、自分が活用しやすいように整理している。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を項目毎に整理し、自分が活用しやすいように整理している。 		

討議のための予備調査に関するルーブリック 8/18		青字は、今回の課題に関する基準	＜討議テーマ：地球温暖化への対応＞	
インターネットによる予備調査	3	2	1	0
資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマを意識して収集する情報の焦点化を行なうだけでなく、専門書、入門書、事典などを利用し、テーマ理解の深化に積極的に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマを意識して、収集する情報の焦点化を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の焦点化が十分ではないが、必要な情報は集めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予備調査がほとんどできていなかった。
	「京都議定書」や「IPCC報告」などを添付資料として付けている。	「京都議定書」や「IPCC」の報告など国際的な取り組みを、具体的な削減目標を定めたこと等まで調べている。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報は、いつ、誰が発信したものか、信頼性や内容の偏りなどに留意して、ひとつの内容について複数情報源から資料を集めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の意見ではなく、事実に関する情報に絞って収集しており、資料の収集源を明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事実だけでなく、個人の意見を述べた資料を集めていたり、資料の情報源は明らかではなかったりするが、必要な情報は集めている。 	
	1つのキーワードを複数のソースを使って調べている。		シートに書名・URL、サイト名の表示がない、または、添付資料が一切ない場合は、「情報源が明らかでない」と見なす。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提示したキーワードと新たに調べたキーワードとの関係を調べ、キーワードの理解の深化に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が収集した情報をもとに、新たなキーワードを自発的に設定し、それについて調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が収集した情報をもとに、新たなキーワードを自発的に設定しているが、やや的はずれな内容である。 	
	今回は「パリ協定」など他の国際的な取り組みについて触れていればOKとする。	「他、自分で調べた関連キーワード」の欄に項目を挙げ、それについて簡単にまとめている。	「他、自分で調べた関連キーワード」の欄に項目のみを挙げている。	
収集した資料の吟味	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料全体に目を通し、分からない用語を調べながら読んでいる。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料全体に目を通し、重要な論点、キーワードなどにチェックを入れている。 	この項目は、加点要素とする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を通じて見出した疑問点・課題をさらに調査して、考察しようとしている。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を読みながら、自分なりの疑問点、課題を挙げている。 	
収集した資料の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を項目毎に整理し、複数の資料をもとに自分でまとめ直すなど、自分が活用しやすいように整理している。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を項目毎に整理し、自分が活用しやすいように整理している。 	

討議のための予備調査に関するルーブリック 10/2		青字は、今回の課題に関する基準		<討議テーマ：宇宙科学・探査への公的な投資の是非>	
インターネットによる予備調査	3	2	1	0	
資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> テーマを意識して収集する情報の焦点化を行なうだけでなく、専門書、入門書、事典などを利用し、テーマ理解の深化に積極的に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> テーマを意識して、収集する情報の焦点化を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の焦点化が十分ではないが、必要な情報は集めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 予備調査がほとんどできていなかった。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 予算規模等まで調べている。成果だけでなく、デメリット・事故などの負の側面についても調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体の官・民の区別など管轄まで調べている。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 情報は、いつ、誰が発信したのか、信頼性や内容の偏りなどに留意して、ひとつの内容について複数情報源から資料を集めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の意見ではなく、事実に関する情報に絞って収集しており、資料の収集源を明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事実だけでなく、個人の意見を述べた資料を集めていたり、資料の情報源は明らかではなかったりするが、必要な情報は集めている。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 1つのキーワードを複数のソースを使って調べている。 		<ul style="list-style-type: none"> シートに書名・URL、サイト名の表示がない、または、添付資料が一切ない場合は、「情報源が明らかでない」と見なす。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 提示したキーワードと新たに調べたキーワードとの関係を調べ、キーワードの理解の深化に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が収集した情報をもとに、新たなキーワードを自発的に設定し、それについて調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が収集した情報をもとに、新たなキーワードを自発的に設定しているが、やや的是ずれな内容である。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 「他、自分で調べた関連キーワード」の欄に項目を挙げ、それについて別紙資料も用意している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「他、自分で調べた関連キーワード」の欄に項目を挙げ、それについて簡単にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「他、自分で調べた関連キーワード」の欄に項目のみを挙げている。 		
収集した資料の吟味	<ul style="list-style-type: none"> 資料全体に目を通し、分からない用語を調べながら読んでいる。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 資料全体に目を通し、重要な論点、キーワードなどにチェックを入れている。 	この項目は、加点要素とする。	
	<ul style="list-style-type: none"> 資料を通じて見出した疑問点・課題をさらに調査して、考察しようとしている。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読みながら、自分なりの疑問点、課題を挙げている。 		
収集した資料の整理	<ul style="list-style-type: none"> 資料を項目毎に整理し、複数の資料をもとに自分でまとめ直すなど、自分が活用しやすいように整理している。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 資料を項目毎に整理し、自分が活用しやすいように整理している。 		

討議のための予備調査に関するルーブリック 11/9		青字は、今回の課題に関する基準	＜討議テーマ：動物実験の是非＞	
インターネットによる予備調査	3	2	1	0
資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマを意識して収集する情報の焦点化を行なうだけでなく、専門書、入門書、事典などを利用し、テーマ理解の深化に積極的に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマを意識して、収集する情報の焦点化を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の焦点化が十分ではないが、必要な情報は集めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予備調査がほとんどできていなかった。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマが倫理的な問題であることを意識しており、関連キーワードも倫理的な問題に触れている。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報は、いつ、誰が発信したものか、信頼性や内容の偏りなどに留意して、ひとつの内容について複数情報源から資料を集めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の意見ではなく、事実に関する情報に絞って収集しており、資料の収集源を明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事実だけでなく、個人の意見を述べた資料を集めていたり、資料の情報源は明らかではなかったりするが、必要な情報は集めている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 1つのキーワードを複数のソースを使って調べている。 		<ul style="list-style-type: none"> シートに書名・URL、サイト名の表示がない、または、添付資料が一切ない場合は、「情報源が明らかでない」と見なす。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提示したキーワードと新たに調べたキーワードとの関係を調べ、キーワードの理解の深化に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が収集した情報をもとに、新たなキーワードを自発的に設定し、それについて調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が収集した情報をもとに、新たなキーワードを自発的に設定しているが、やや的是はずれな内容である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 「他、自分で調べた関連キーワード」の欄に項目を挙げ、それについて別紙資料も用意している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「他、自分で調べた関連キーワード」の欄に項目を挙げ、それについて簡単にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「他、自分で調べた関連キーワード」の欄に項目のみを挙げている。 	
収集した資料の吟味	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料全体に目を通し、分からない用語を調べながら読んでいる。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料全体に目を通し、重要な論点、キーワードなどにチェックを入れている。 	この項目は、加点要素とする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を通じて見出した疑問点・課題をさらに調査して、考察しようとしている。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を読みながら、自分なりの疑問点、課題を挙げている。 	
収集した資料の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を項目毎に整理し、複数の資料をもとに自分でまとめ直すなど、自分が活用しやすいように整理している。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を項目毎に整理し、自分が活用しやすいように整理している。 	

討議のための自己評価・相互評価シート用のルーブリック

6月27日(火) 6・7校時	討議のテーマ	遺伝子組換え作物	()番 氏名()
特に該当すると思った班員の名前を記入しなさい。			
討議における相互評価表	3	2	1
予習内容と討議とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に予習に取り組み、その成果をもとに討議を活性化することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習してきた内容を活かして意見を述べることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習が十分ではなく、好き嫌いや思いつき、感想に基づく発言に止まった。
討議での発言	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を示して説得力のある意見を述べることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を示して意見を述べることができたが、導出にやや難があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 単に結論を述べるに止まるなど、明確に根拠を示すことができなかった。
	<ul style="list-style-type: none"> 討議を深める新たな論点を示すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者の意見に対して賛成・反対を述べることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者の意見に頷くなどの反応をしたが、積極的に発言することはできなかった。
	<ul style="list-style-type: none"> 根拠の事実関係や語の定義だけでなく、結論と根拠とのつながりについての確かな質問をすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠の事実関係や語の定義に関して的確な質問をすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 質問をしたものの、質問内容がテーマから逸れたり、的はずれなものになってしまった。
討議での聞く姿勢	<ul style="list-style-type: none"> 討議の最中、他の班員の発言を理解しようと努め、適宜メモをとることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 討議の最中、他の班員の発言を理解しようと努め、時折メモを取ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 討議の最中、他の班員の発言をしっかりと聞こうとしたが、時折、ぼんやりしていた。

課題レポート(シートd)に関するルーブリック

内容面	3	2	1	0
討議とのつながり	・ 討議の成果を踏まえて、深化した自分の意見を適切にまとめることができている。	・ 討議の成果を踏まえて、自分の意見をまとめることができている。	・ 自分の意見をまとめているが、討議の成果を十分に踏まえているとは言えない。	・ 提出していない
意見文の論証構造	・ 自分の意見に対して、しっかりと根拠を示して論証を試み、その論証も適切で、説得力あるものとなっている。	・ 自分の意見に対して、しっかりと根拠を示して論証を試みようとしている。	・ 自分の意見に対する根拠が十分に示されず、論証の形を取っていると言えない。	
科目の内容に即した考察	・ 多角的な視点から、科学者・技術者の社会との関わりについての考察となっている。	・ 対立する意見に反論するなど、多様な視点に基づき、テーマを考察している。	・ 視点が一方的で、テーマを十分に考察しているとはいえない。	
表現面	3	2	1	0
文章の構成	・ 論証のために十分な量の文章で、序論・本論・結論など論文の構成に注意して、適切な段落分けがなされた上で書かれている。	・ 論証のために十分な量の文章で、適切な段落分けがなされている。	・ 段落構成の意図が不明確で、わかりづらく、全体の構成も明確ではない。 ・ 文章量も論証の形でまとめるには不十分な量である。	・ 提出していない。
文献・インターネットからの引用	・ 参考にした文献の情報を適切に示している。	・ 他人の意見を引用するときは、どこからどこまでが引用であるかがわかるように書いている。	・ 引用箇所とそうでない箇所との区別が曖昧である。	
読み手に配慮した文章表現	・ 1文の長さが適切で、修飾語・被修飾語の位置関係も近く、係り受けも明確であり、読みやすい文章であった	・ 読み手に伝わりやすくするために、1文の長さに気をつけて書いている。	・ 1文が異様に長く、文意をとりづらい箇所があり、また、係り受けにもおかしな箇所が見られた。	
文体の統一性等	・ 文体が統一されており、誤字・脱字もない。	・ 文体を統一して書いている。	・ 文体の統一がなされていない箇所があり、誤字・脱字も何箇所も見られた。	

論文に関するルーブリック

課題小論文用のルーブリック

内容面	3	2	1	0
課題設定	・自ら課題を設定し、解決すべき仮説を明確である。	・自ら課題を設定しているが、解決すべき仮説は明確ではない。	・何を探究したいかが不明確である。	提出していない
	・内容が、科学・技術と社会的・倫理的な問題と関連付けられており、探究する意味のある課題となっている。	・内容が、科学・技術と社会的・倫理的な問題と関連付けがなされているが、探究するに値する課題であるとはみなしがたい。	・何を探究したいかが不明確である。	
	・先行研究の分析を踏まえており、解明すべき範囲が明確かつ適切である。	・解明すべき範囲が明確であるが、既存の知識をなぞるだけになっている、または、先行研究の分析を踏まえてない。	・解明すべき範囲が不明確であり、既存の知識をなぞるだけになっている、または、先行研究の分析を踏まえてない。	
課題の分析	・課題から解決すべき具体的な問題を取り出し、その問題意識も明確である。	・課題から取り出した解決すべき問題に対する問題意識が不明確である。	・課題から具体的な問題が取り出せていない。	
	・課題を解決するためのキーワードが十分に定義されている。	・課題を解決するためのキーワードの定義がなされているが、十分とは言えない。	・課題を解決するためのキーワードが定義されていない。	
問題の解決	・問題の解決への道筋が適切である。	・問題解決の進め方は示されているが、その選択や順序には不適切なものもある。	・問題解決への道筋が考えつくされているとはいいがたい。	
	・問題への独自の解答を提示できている。	・得られた答えは既存の解答の範囲を出ないものである。	・問題に対する答えがない。またはその答えが的外れである。	
	・解答を得るにあたって、多面的な分析を適切に試みている。	・答えを得るにあたって適切な分析を加えているが、一面的である。	・分析が不十分である。	
表現面	3	2	1	0
文章の構成	・ 論証のために十分な量の文章で、序論・本論・結論など論文の構成に注意して、適切な段落分けがなされた上で書かれている。	・ 論証のために十分な量の文章で、適切な段落分けがなされている。	・ 段落構成の意図が不明確で、わかりづらく、全体の構成も明確ではない。 ・ 文章量も論証の形でまとめるには不十分な量である。	提出していない
文献・インターネットからの引用	・ 参考にした文献の情報を適切に示している。	・ 他人の意見を引用するときは、どこからどこまでが引用であるかがわかるように書いている。	・ 引用箇所とそうでない箇所との区別が曖昧である。	
読み手に配慮した文章表現	・ 1文の長さが適切で、修飾語・被修飾語の位置関係も近く、係り受けも明確であり、読みやすい文章であった	・ 読み手に伝わりやすくするために、1文の長さにつけて書いている。	・ 1文が異様に長く、文意をとりづらい箇所があり、また、係り受けにもおかしな箇所が見られた。	
文体の統一性等	・ 文体が統一されおり、誤字・脱字もない。	・ 文体を統一して書いている。	・ 文体の統一がなされていない箇所があり、誤字・脱字も何箇所も見られた。	